

平成二十九年
度版
消
防
年
報

平成29年度版

消 防 年 報



霧 島 市 消 防 局

鹿児島県霧島市国分中央三丁目41-5
〒899-4332 TEL (0995) 64 - 0119
FAX (0995) 64 - 0845

霧
島
市
消
防
局



霧 島 市 消 防 局

全国統一防火標語一覧

昭和44年度	今捨てたタバコの温度が700度
昭和45年度	防火三百六十五日
昭和46年度	いま、燃えようとしている火がある
昭和47年度	慣れた火に新たな注意
昭和48年度	隣にも声かけあってよい防火
昭和49年度	生活の一部にしよう火の点検
昭和50年度	幸せを明日につなぐ火の始末
昭和51年度	火災は人災防ぐはあなた
昭和52年度	使う火を消すまで離すな目と心
昭和53年度	それぞれの持場で生かせ火の用心
昭和54年度	これくらいと思う油断を火が狙う
昭和55年度	あなたです！火事を出すのも防ぐのも
昭和56年度	毎日が防火デーですほくの家
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心
昭和58年度	点検は防火のはじまりしめくくり
昭和59年度	“あとで”より“いま”が大切火の始末
昭和60年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
昭和61年度	防火の大役あなたが主役
昭和62年度	消えたかな！気になるあの火もう一度
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末
平成元年度	おとなりにあげる安心火の始末
平成2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成3年度	毎日が 火の元警報 発令中
平成4年度	点検を重ねて築く“火災ゼロ”
平成5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年度	気をつけて はじめはすべて ちいさな火
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度	たしかめて 火を消してから 次のこと
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に

平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

表紙の説明【宮浦宮、夫婦イチョウ】

宮浦宮は神武天皇と天神七代12柱、地神五代5柱が祀られている由緒ある古社である。

宝暦2年に正一位の神階を授けられ、桃園天皇からの勅許により御幣十三体を内陣に納め、「正一位宮浦大明神」の勅額を正面鳥居に掲げるところから、宮浦大明神と称される。

社殿は寛政3年の大火で類焼し、当時の島津藩26代藩主斉宣公が再興したものである。

福山の夫婦イチョウは、神武天皇の東征時の仮の宮であったことを記念して植えられたと伝えられている。

右側の木には寛政3年の大火の火傷跡があり、左の木には西南戦争の際に官軍による砲撃で受けた弾痕が残っている。

形・大きさともに類似し、樹齢は1000年を超えているとされ、昭和39年に福山のイチョウとして県の天然記念物に指定されている。